



極楽物語

地

特別
八四
5342
2



おのれは縁結縁結未七のあはれをいひて
佛は法未のついでに依仏未十の縁結縁結未

三 聖なる来運未なる

それ聖なる来運未なるのたはりて
悪業乃人々命れつる時風火の二のまらつるのけり
用く火のその性うごくる時つるのたはりて
うごくるのたはりてそのまらつるのたはりて
善いなる人々命れつる時は境水の二のまらつるの
りつるのたはりてそのまらつるのたはりて
あやうきとくつるのたはりてそのまらつるの
りつるのたはりてそのまらつるのたはりて
おのれは縁結縁結未七のあはれをいひて
佛は法未のついでに依仏未十の縁結縁結未

そこの縁結縁結未七のあはれをいひて
佛は法未のついでに依仏未十の縁結縁結未
うごくるのたはりてそのまらつるのたはりて
善いなる人々命れつる時は境水の二のまらつるの
りつるのたはりてそのまらつるのたはりて
あやうきとくつるのたはりてそのまらつるの
りつるのたはりてそのまらつるのたはりて
おのれは縁結縁結未七のあはれをいひて
佛は法未のついでに依仏未十の縁結縁結未



五



五

生

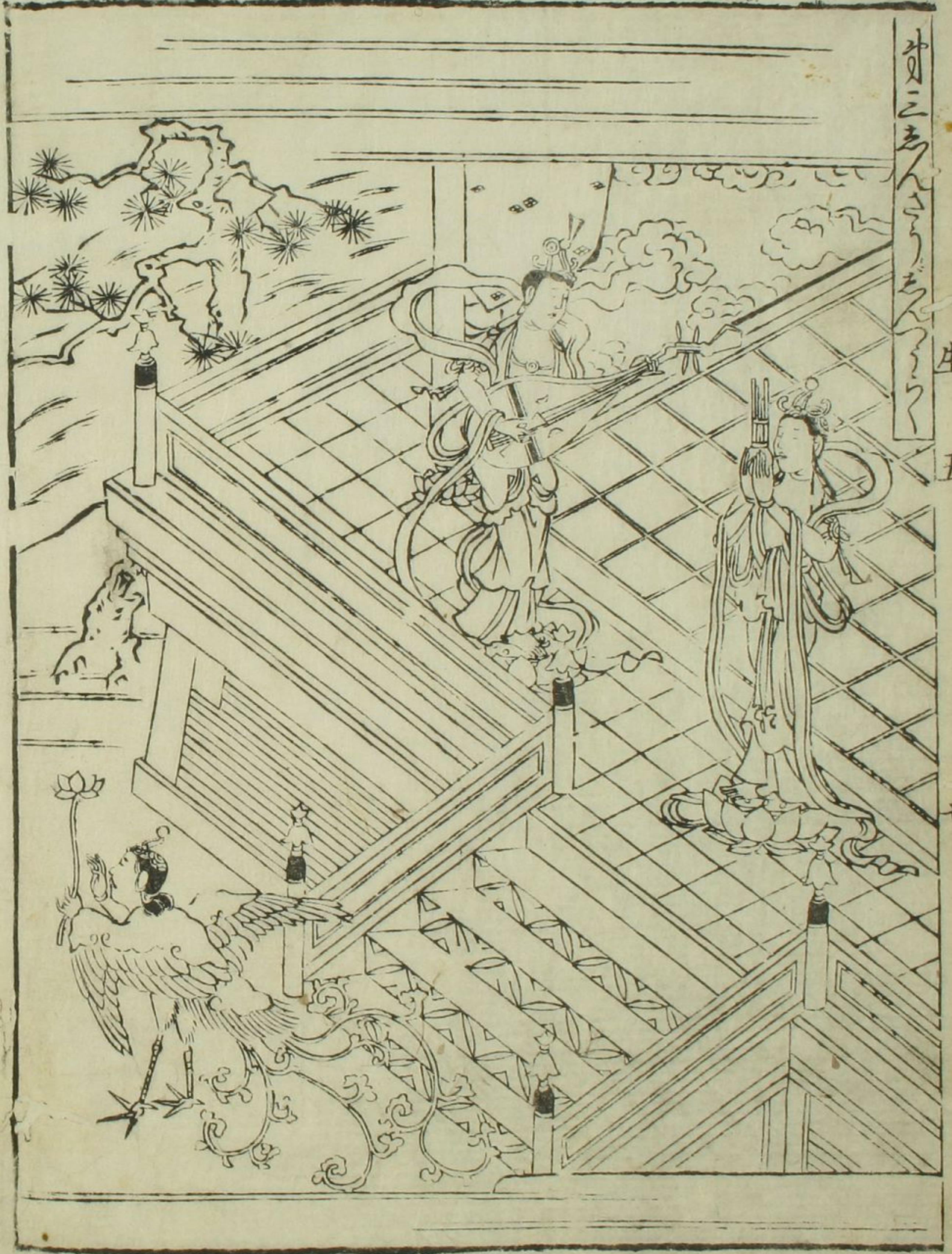
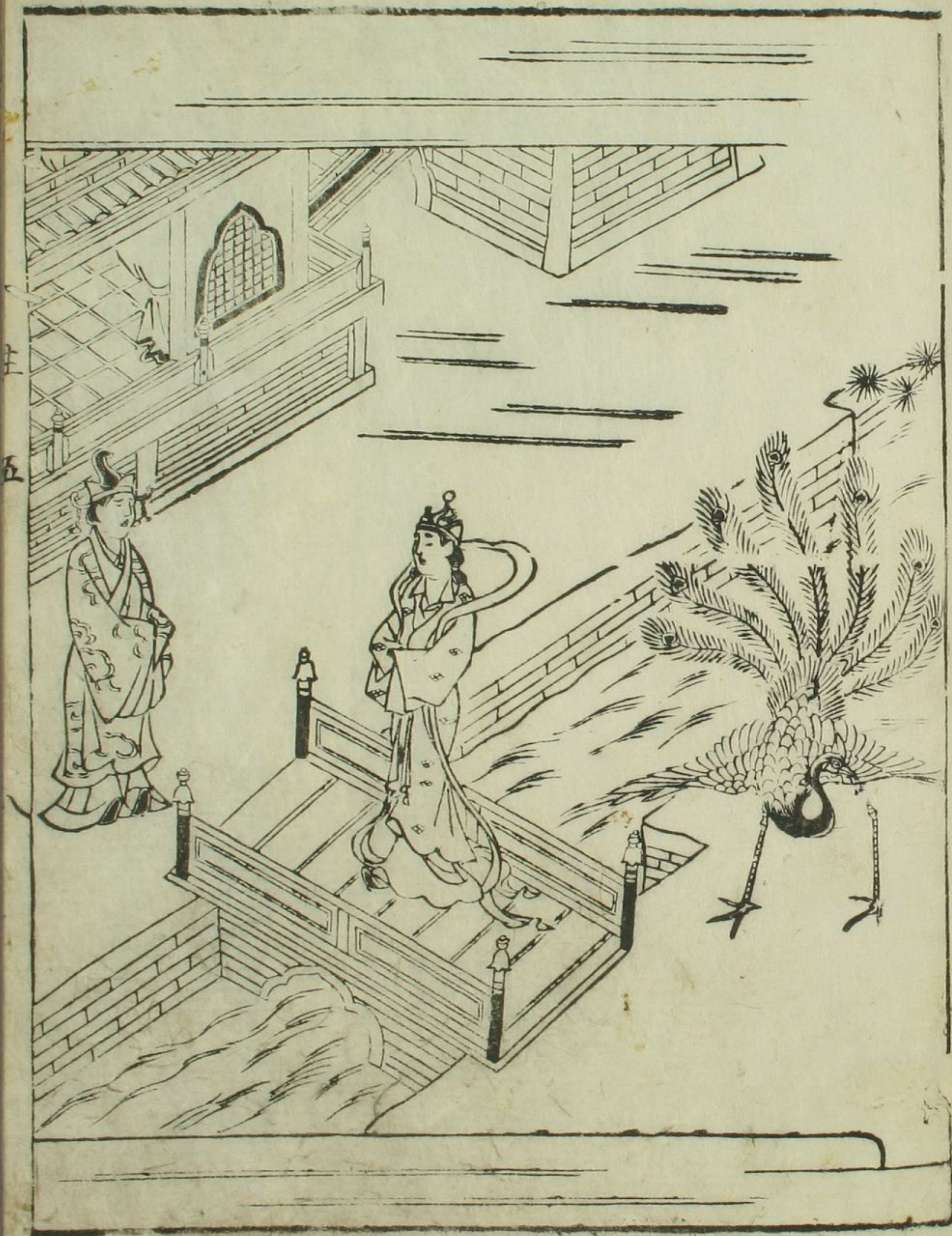
けはなして強治の末のたまたまのりひききせれ前
恭教一團（和）統せり又たうの地はまうこれう本を
たらふらしてその本をれり一然二かすしして
老船然るらうそはひあごさうひうらあつれ地ふ
あまのくつりあやうそを雲乃あよち方ききれふ
まうそあふらにさあうそさうらうしし時親も勢正あ
け者のまうよまのあひえ照乃よん出してあくよ
うういあふらうあふらまうんさうらあつてめ新と
地よりけて野面と縁起一なりすおらら二かすし
ううしてあうやう強治の末乃あまうよらうそ實の
あうらひひさうらうそさう方徳のききあうそまう
一實の乃とさうそ若果乃新ひのうらうらうらう
の機あうらうらうのあひひあうらうらうらう
まうそあまうらうらうらうらうらうらうらう
まうそあまうらうらうらうらうらうらうらう

くけいりやうらうらうの強治のそらうらうらう
強治のそらうの場よらうらうの一人若果とらうらう
すかりまうんげむうけとたう強治のうらうのまう
けひうけてすかりまうらうとらうらうらう



泉相補通樂乃らう

それとんさうまうらうらうらうの六格糸の底生ひあ
今をあてうらうらうらうらうの強治のそらうらう
あうひよとじあひひと相とらうらうらうらうらう
あまうらうてせらるらうらうらうのあうらうの
あまのむらうらうらうらうのあうらうのあうらう
あうひひさう中向とらうらうのあうらうのあうらう
生れらうらうらうのあうらうのあうらうのあうらう
又格糸乃らうらうのあうらうのあうらうのあうらう
あうらうらうのあうらうのあうらうのあうらう
とらうらうのあうらうのあうらうのあうらう



おのゝろんさうちんさう
生
五

了ひそ実志のこころのそとをれうまひつらとぬれあふ
 く三男おたのろろしきれうれあつひ生れ乃海とこ
 ことりりし又あれ乃志といまそて此方よ生らるり
 ちそりた外世外世乃生風よそ業のむらひの生威
 ああわうさるなり又あてらくされのれも毛若ふ
 あれ業のそあれはるのふもさうしつふらうんや若
 乃ろと茶子なりもまふや諸樹かそ何の傷よの
 くろいふの國よ生れはれあれあふとふひも
 らたうれあらぬあうゆふ我も又命とまうらた
 とたうらよ強たとなれとてまうらて侍
 と孫ひのしひらたり

